

## 令和8年度第1回帯広市地域密着型サービス運営委員会議事概要

日 時 令和8年4月27日（月）19時00分～19時45分

場 所 帯広市役所10階第3会議室

出席者 伊藤委員、鈴木委員、鳴海委員、野尻委員、橋本委員、保前委員、道下委員、米澤委員（五十音順）

事務局

（地域福祉課）齋藤課長、藤本課長補佐、水谷主任、金子主任補、竹山係員

（介護高齢福祉課）阿部課長、野原主幹、渡辺係長、竹村主任、池ヶ谷主任補

### 1 会議結果

#### 1) **報告事項1** 地域密着型サービス事業所で発生した高齢者虐待の対応について

資料**報告事項1**に基づき、対応について報告した。 ※詳細は非公表

### 2 主な質疑、意見等の概要

#### **報告事項1**

□報告事項のうち、2つ目の事案について、着服回数や金額が記載されていないが、把握しているか。

また、返金はされているか。（委員）

→ 全部で13回、金額は130万660円。全額返金されたと報告を受けている。（事務局）

□2件ともに本事案はどのようにして、施設内で発覚したのか。（委員）

→ 1件目については、ご家族が帯広近辺にはいらっしゃらなかった。当該事業所の他の介護職員が付き添いでお金を下ろした際、身に覚えのない金額の引き落としがあったことで発覚し、市へ報告があったもの。

2件目については、札幌に住まわれている被害者の娘さんが本人の通帳を確認した際に、身に覚えのない出金記録があったことに気づき、施設に連絡があった。その後、市へ報告があったもの。（事務局）

□報告事項のうち、2つ目の事案について、被害者の金銭管理に関する記録が破棄されており、確認

できなかったとあるが、当該従業員はいつから関与しており、今回報告があった金額以上に被害がある可能性はあるのか。（委員）

→ 市への報告は発覚から1年7か月が経過したのちにあったが、実際に当該従業員が行った行為自体は1か月の間に行われたものであることが被害者の通帳より判明している。

当該従業員はすでに発覚時点で退職していると施設から伺っている。

報告が遅れた理由としては、当該施設長が被害者家族より大ごとにしたくないという意向があったことを鑑み、施設内のみで留めておこうとしてしまったことが一番の要因。本来は所管法人に報告したのち、市への報告をしなければいけないものであった。

また、当該従業員が退職及び被害金額を全額弁済しており、被害者家族の意向もあって、解決したと思い込んでしまったことも一つの要因としてあった。(事務局)

□1つ前の質問と関連するが、記録が破棄されていたという部分について、本被害に関する記録だけなかったのか、事業所としてこの時期の記録がすべてないのか。(委員)

→当該従業員がこの部分の記録のみ捨ててしまったと施設から伺っている。(事務局)

□加重と軽減の基準①について、2件ともに軽減措置となっているが、本被害の事実があることで加重となり、返金したことでプラスマイナス0になる、といった判断にはならないのか。(委員)

→ 加重の視点としては生命・身体を侵害するという点で、生命及び身体に限定されており、財産に関する侵害について記載されていない。よって、プラスマイナス0からマイナス1の軽減として帯広市で判断した。

本加重と軽減の基準に関する表は国で示されているものだが、最終的な判断は自治体によって行うもの。本件は2件ともに全額返金されていることより、軽減の判断を行った。(事務局)

□施設に対する処分ではなく、やってしまった当該従業員に対する処分はないのか。(委員)

→ 1件目に関しては、施設が当該従業員を懲戒免職処分とした旨の報告を受けている。

また、警察の捜査も別途行われたとのこと。

2件目に関しては、施設の処分を待たず、当該従業員が自主的に退職したと施設から伺っている。(事務局)

□そのほか、ご家族が身近にいない方などで見つかっていないものがありそう。(委員)

→ 本件に関してもそうだが、ご家族であったり、ほかの職員であったり、第三者の目があり、発覚している。実際に対応する職員と利用者が1対1になり、その環境が継続されると、こういった事案は起こり得てしまう。

本件が起こった2つの施設からは、今後も施設側の人間で第三者の視点が働くような再発防止策

を立てられているということで伺っている。(事務局)

□本人が預金をおろしたのに、本人がおろしていないと主張するようなトラブルはないのか。(委員)

→ 本人の勘違いでそのようなケースが起こることも考えうるが、事例としては伺っていない。ご高齢の方が利用者となることが多いため、記憶違いかどうかを判断する難しさはある。施設、利用者双方に難しさがある中で、しっかりお金の流れをチェックできる体制を作るよう、施設側へ伝えていく。

(事務局)

以上 閉会